

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第4区分

【発行日】平成27年4月30日(2015.4.30)

【公開番号】特開2013-151755(P2013-151755A)

【公開日】平成25年8月8日(2013.8.8)

【年通号数】公開・登録公報2013-042

【出願番号】特願2013-46891(P2013-46891)

【国際特許分類】

B 22 F 1/00 (2006.01)

H 01 G 9/052 (2006.01)

B 22 F 1/02 (2006.01)

【F I】

B 22 F 1/00 P

H 01 G 9/05 K

B 22 F 1/00 A

B 22 F 1/02 F

【手続補正書】

【提出日】平成27年3月11日(2015.3.11)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

平均粒子径が0.4~0.5 μmであり、かつ平均粒子径d(μm)と真密度M(g/cm³)とBET比表面積S(m²/g)との積(dMS)の値が5.4~5.8の範囲内であるタンゲステン粉。

【請求項2】

酸化剤を含有する水溶液中にタンゲステン粉を分散することにより、タンゲステン粉の粒子表面に酸化膜を形成させ、前記酸化膜をアルカリ水溶液で除去する工程を含む方法により製造されるものである請求項1に記載のタンゲステン粉。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0019

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0019】

球形に近い粒子の表面に形成される誘電体層は、ほぼ一様な曲率を有し、応力が集中しやすい大きな曲率で屈曲する部分が無いので劣化が少ない。その結果、LC特性がより良好なコンデンサが得られる。